

# 短期決戦に突入 日本共産党大躍進を

●衆院が21日に解散。短期決戦の総選挙。高知県委員会は折よく、四国比例代表に浜川ゆりこさんを発表したばかり。すぐさま、高知



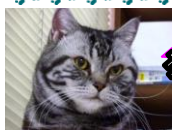
一区に春名なおあき元衆議員、二区に谷崎はるゆきさんを候補者として発表、必勝を期した取組に入った。

## 連日1万ヶ所超 音の宣伝を展開

全国では、すでに連日一万ヶ所をこえる音の宣伝が繰

りひろげられている。支持率が6%をこえる世論調査も出始めているが、問題はこの数字ではない。実際にどれだけ多くの県民に声をかけているかが指標。公示までに目標としている650万までの支持拡大をやりあげ、公示後は天井知らずに対話・支持拡大を広げることにより歴史的な勝利はかかっている。

安倍自公政権が続けば、格差はますます進み、働き方も年金も、そして国民の自由と平和も奪われてしまいます。読者のみなさん、短期決戦です、どうかお力をお貸しください。



### 中ラリン にやんでも通信

地域の課題は、毎日のくらしに直結しており切実です。ご要望お寄せ下さい。

●知事・教育長への県議団来年度予算要望を行いました。精神障害がある方の公共交通利用料金減免への道が示されました。衆議院解散中も地方行政は通常通りに運営されます。しかし、12月議会は総選挙実施期間を考慮し、開会日を当初予定より5日遅らせ12月10日から2週間の予定で会期設定となります。

●街頭宣伝の間にも、市民の皆さんからの要望は、次々に届けられます。宣伝の合間の時間をぬって、県と市の担当部の職員にも連絡し、岡田やすし市議と、山や川へと現地調査に入っています。

